

**冬の展望台(第2回)** 青空の多い寒気の日々は、クリアな景色を眺めるには最高のタイミングです。今回の「冬の展望台」では、新たな絶景スポットを紹介します。それでは、冬の山歩きには防寒具やスパイク、ヘッドライトなどの装備を忘れずに自然の中へ出掛けましょう！

① 市役所5階から馬頭刈尾根・金比羅尾根などを望む(2012年1月)



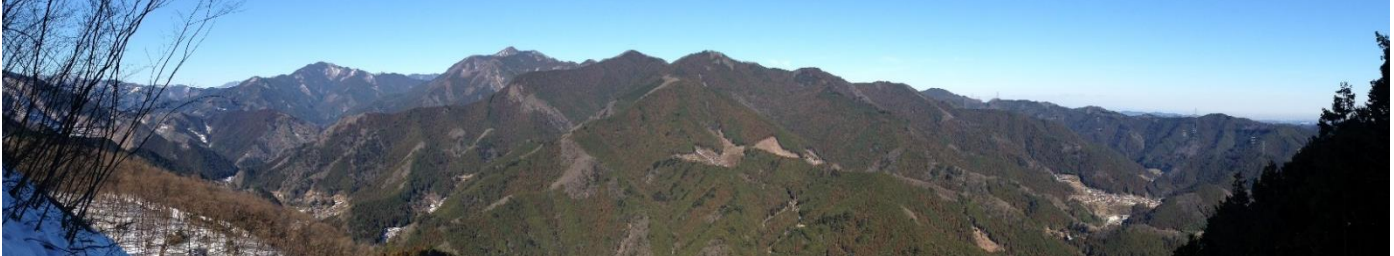
② 荷田子峠周辺からグミ尾根・松生山・三頭山・馬頭刈山などを望む(2016年1月)



③ 秋川下流部周辺の景色(2017年12月)



④ グミ尾根中間部「荷田子峠～臼杵山」から馬頭刈尾根・御前山などを望む(2016年1月)



⑤ 馬頭刈山から大岳山・馬頭刈尾根を望む(2012年12月)



# 2018年

## 大産卵になりますように！



両生類の保全活動を続けて8年になります。毎年、寒い時期に両生類の産卵に向けて複数の池の整備や、外来種のアライグマやアメリカザリガニなどの対策を行っています。自然とのかかわりなので、思いどおりにいかないときもありますが、この活動を続けたことで両生類の絶滅を止めることができた場所もあります。

私の両生類に対する想いだけでなく、自然の複雑なシステムの中で両生類は重要な役割を持っているので、少なくなった池などの産卵場所を守り、この先も生存できるように両生類たちを支援したいと思います。

(写真)左:あきる野西部にあるトウキョウサンショウウオの池、下:森の子コレンジャー活動で作ったビオトープ



### 両生類はちゃんと来てくれます！

- ① トウキョウサンショウウオの産卵期、夜間に訪れるメスを待つオス個体
- ② 3月中は、ヤマアカガエル(右)とトウキョウサンショウウオ(左)の産卵が重なる場所がよくあります。
- ③ 真夏、森の子コレンジャーが整備を続けているビオトープを利用するアカハライモリやモリアオガエル(幼生)の様子

